

ウオダス 漁海況速報 No.1530



発行日 平成 19年1月11日 <http://www.applenet.jp/~aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37

1月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

スルメイカ稚子の採集個体数は低水準

((独) 日本海区水産研究所による)

2006年秋季スルメイカ稚子分布調査速報

三 厩 (1月6~10日)

ウスメバル	一本釣	3隻	63kg
アブラツノザメ	延 縄	2隻	509kg

小 泊 (1月6~10日)

スルメイカ	一本釣	12隻	4,980kg
ヤリイカ	一本釣	4隻	30kg
ウスメバル	一本釣	12隻	242kg
マダラ	刺 網	4隻	750kg
アブラツノザメ	刺 網	2隻	88kg

下 前 (1月1~10日)

(取りまとめ中)

鰺ヶ沢 (1月6~10日)

(悪天候のため休漁)

大 戸 瀬 (1月6~10日)

ヤリイカ	定置網	1隻	10kg
(295 kg)	底建網	17隻	273kg
	一本釣	1隻	12kg
スルメイカ	一本釣	1隻	500kg
サクラマス	定置網	1隻	1kg
タ イ	底建網	5隻	10kg
ウスメバル	底建網	2隻	0.4kg

深 浦 (1月6~10日)

(取りまとめ中)

沢 辺 (1月6~10日)

ヤリイカ	一本釣	1隻	2kg
マダラ	刺 網	21隻	7,215kg
ウスメバル	刺 網	4隻	49kg
タ イ	刺 網	1隻	2kg
アブラツノザメ	刺 網	6隻	146kg

平 舘 (1月1~5日)

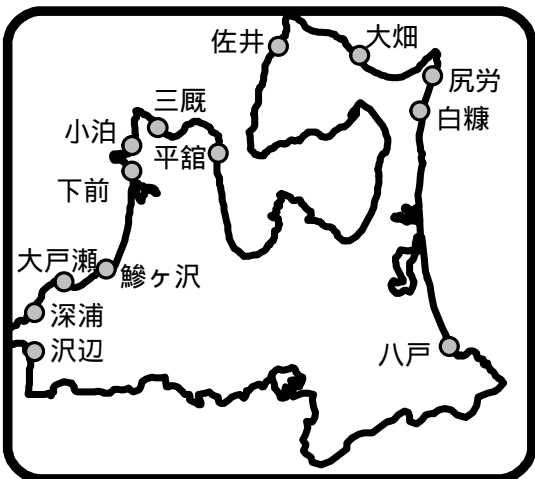
(正月休みのため漁獲無し)

(1月6~10日)

サ バ		190kg
スルメイカ		2,053kg
ヤリイカ		5,158kg

佐 井 (11月16日~1月10日)

(取りまとめ中)



大 畑 (1月6~10日)

スルメイカ	定置網	4隻	4,232kg
(5,843 kg)	底建網	9隻	1,611kg
ヤリイカ	定置網	8隻	11kg
(2,293 kg)	底建網	14隻	2,281kg
サ ケ	定置網	9隻	2,764kg
サクラマス	定置網	9隻	143kg
(144 kg)	底建網	1隻	1kg
クロマグロ	延 縄	1隻	110kg
(173 kg)	定置網	1隻	63kg
ウスメバル	底建網	11隻	17kg
(85 kg)	一本釣	3隻	68kg
マダラ	定置網	3隻	17kg
(26 kg)	底建網	3隻	9kg
タ イ	底建網	8隻	7kg
ブ リ	定置網	2隻	1kg

尻 労 (1月6~10日)

(取りまとめ中)

白 糖 (12月21日~1月10日)

(取りまとめ中)

八 戸 (1月6~10日)

サ ケ 他	定置網	6隻	8,703kg
-------	-----	----	---------

主要魚種の動き

マダラ (全漁法・1月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(11月~)	去年同期累計比
小 泊	750kg	255%	27,290kg	47%
鰺ヶ沢	0kg	0%	1,501kg	6%
大 戸 瀬	0kg	0%	53kg	55%
深 浦	-	0%	38,329kg	77%
沢 辺	7,215kg	150%	26,456kg	128%

ヤリイカ (全漁法・1月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月~)	去年同期累計比
小 泊	30kg	11%	7,450kg (昨年同期:0kg)	
下 前	-	-	8,409kg (昨年同期:0kg)	
鰺ヶ沢	0kg	0%	30,647kg	202%
大 戸 瀬	295kg	2%	42,990kg	288%
深 浦	-	0%	5,727kg	645%
沢 辺	2kg	8%	302kg (昨年同期:0kg)	
(陸奥湾)				
平 舘	5,158kg	-	27,446kg	309%
(津軽海峡)				
三 厩	0kg	0%	3,116kg	1215%
佐 井	-	-	1,258kg	49%
大 畑	2,293kg	124%	19,364kg	397%
(太平洋)				
尻 労	-	-	90kg	8%
白 糖	-	-	23,871kg	244%

スルメイカ (一本釣・1月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	去年同期累計比
小 泊	4,980kg	31%	1,651,026kg	219%
下 前	-	-	1,036,925kg	205%
鰺ヶ沢	0kg	-	221,780kg	258%
深 浦	-	-	400,795kg	178%
(津軽海峡)				
三 厩	0kg	0%	219,936kg	115%
大 畑	0kg	-	987,920kg	36%
(太平洋)				
白 糖	-	-	626,370kg	35%
八 戸	0kg	0%	1,121,590kg	30%

アブラツノザメ (全漁法・1月6~10日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計(9月~)	去年同期累計比
三 厩	509kg	69%	20,218kg	71%
(日本海)				
小 泊	88kg	-	432kg	424%
鰺ヶ沢	0kg	-	22,444kg	669%

サケの沿岸漁獲量及び来遊尾数

海域区分	累積沿岸漁獲量		累積尾数(尾)		
	今年	前年同期比	沿岸漁獲	河川そ上	来遊尾数
太平洋	4,201 トン	171 %	1,273,112	280,146	1,553,258
津軽海峡	966 トン	87 %	306,891	2,000	308,891
陸奥湾	25 トン	51 %	6,290	32,791	39,081
日本海	401 トン	74 %	133,569	18,588	152,157
合計	5,593 トン	135 %	1,719,862	333,525	2,053,387

資料: 県水産振興課

沿岸各地の水温

日本海 8 ~ 9 台
陸奥湾 6 ~ 11 台

(1月6~10日)

津軽海峡 9 ~ 10 台
太平洋 5 ~ 9 台

今回はほとんどの地域で降温し、平均前回差は-0.4度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+0.8度、津軽海峡側で+1.6度、陸奥湾内で+1.9度、太平洋側で+1.0度となっており、平均昨年差は+1.4度です。

平年と比べると、陸奥湾を除く各海域で平年並みとなっており、平均昨年差は+0.6度となりました。

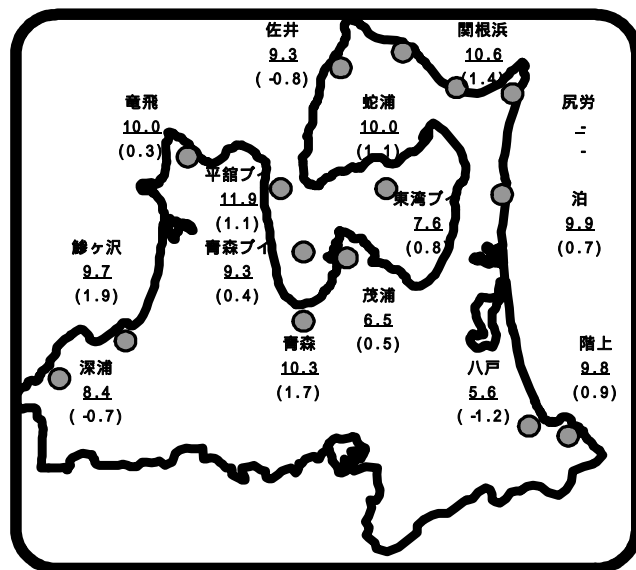


図 定地水温(1月6~10日) 平均値(平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	8.4	-0.7	+0.0	-0.9
蛇ヶ沢	9.7	+1.9	+1.5	+0.2
竜飛	10.0	+0.3	+0.6	-0.5
佐井	9.3	-0.8	+1.9	+0.2
青森	10.3	+1.7	+2.1	-0.4
蛇浦	10.0	+1.1	+2.3	+0.1
関根浜	10.6	+1.4	+1.8	-0.6
尻屋崎	-	-	-	-
泊	9.9	+0.7	+0.8	-0.5
八戸	5.6	-1.2	+0.8	-0.6
階上	9.8	+0.9	+1.3	-1.2
茂浦	6.5	+0.5	+1.4	-0.9
平館ブイ	11.9	+1.1	+2.7	-0.3
青森ブイ	9.3	+0.4	+1.1	-0.6
東湾ブイ	7.6	+0.8	+2.0	-0.3
平均	9.2	+0.6	+1.4	-0.4

太平洋の海況 (1月4~5日)

概況; 沿岸水温は11~12台

太平洋沿岸域の表面水温 11~12台で前回とほぼ同じ水温です。昨年同期と比較しても同程度の水温となっています。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 11等温線でみると東経142度付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

親潮系冷水の南下 10等温線でみると北緯39度55分付近までで、張り出しは昨年同期よりも北偏しています。

日本海の海況 (1月4~5日)

概況; 沿岸水温は12台

日本海沿岸域の表面水温 12台で、前回とほぼ同じ水温です。昨年同期と比較すると2度ほど高い水温です。

試験船情報

試験船開運丸は25日までの予定で、太平洋のあかいか未利用資源調査を行っています。

試験船東奥丸は23日まで、太平洋のあかいか未利用資源調査を行う予定です。

試験船青鵬丸は今週、日本海において高層魚礁調査を行う予定です。

2006年秋季スルメイカ稚仔分布調査速報

(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所では、2006年10月13~28日にスルメイカ稚仔分布調査を行いました。採集された稚仔の曳網点当たりの採集個体数は、稚仔が急増した1990年前後と同水準となりました(図2-3)。出現点当たりの採集個体数は、まとめて採集された定点が2点あったことにより昨年並みとなりましたが1990年以降では低い値であり(図2-2)出現点の比率も、調査海域の南端部でほとんど採集されなかったため低い値となりました(図2-1)。孵化後間もないと考えられる稚仔が隠岐諸島周辺から対馬にかけて採集されたため(図1)産卵海域は比較的広範囲にわたっていたと推察されます。従って、2006年秋季において、スルメイカの産卵場は日本海内から対馬周辺まで認められるものの、稚仔の採集個体数等は、資源が急増した1990年以降では低い水準にあり、今後の資源動向を注視していく必要があると考えます。

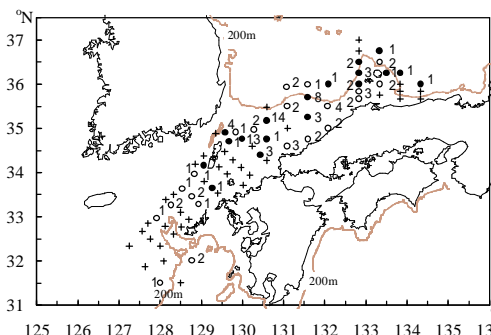


図1 スルメイカ稚仔の出現位置と採集個体数
+ : 採集個体数が0の定点 ; 上記以外の稚仔が採集された定点
: 孵化後間もないと考えられる稚仔が採集された定点

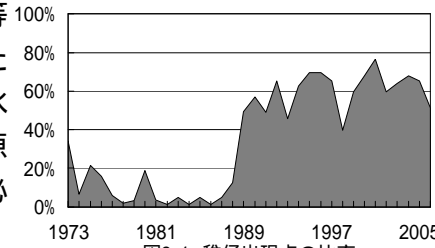


図2-1 稚仔出現点の比率

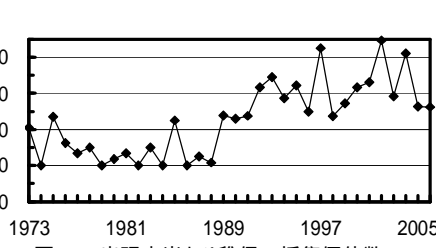


図2-2 出現点当たり稚仔の採集個体数

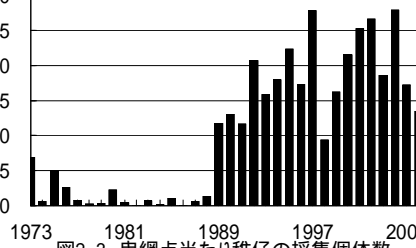
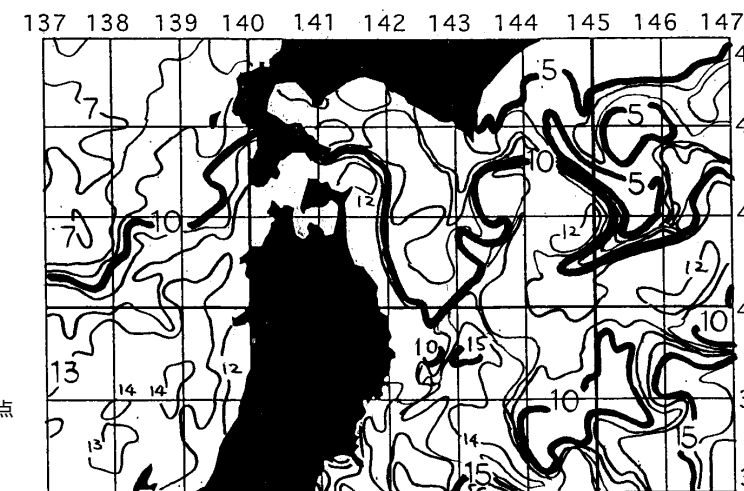


図2-3 曳網点当たり稚仔の採集個体数



資料:(社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第78号 1月8日

大戸瀬沖の平均水温

(ブイのデータ:)

	1m層	10m層	20m層
1月6~10日	13.19	13.36	13.12
前回差	0.42	0.34	0.23